

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は、2022年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則、本大会要項及び競技注意事項を適用する。

2 競技場使用について

- ウォームアップは、補助競技場を原則とする。練習は係員の指示によって行うこと。
 - 1～2レーンは周回練習のみの使用とする。
 - 3～4レーンは短距離練習のみの使用とする。
 - ブロックを使用してのスタート練習は多目的広場側直走路5～10レーンのみとする。
 - 多目的広場側直走路7・8レーンは女子100mH、9・10レーンは男子110mHとする。
 - リレー練習は用器具倉庫前第2コーナー付近で行うこと。第4コーナー付近でのリレー練習は禁止する。
 - メディシンボールやミニハードル等、競技場備え付けの用具以外は使用禁止とする。
- 砲丸投の練習については、補助競技場内トラック外側の砲丸投ピットのみとする。
- 練習および競技で使用したマーカー（テープ類）は、必ず使用後に各自で処理すること。
- 雨天時に限り、雨天練習場を開放する。雨天練習場の使用は、体操、ストレッチ、動き作り、ジョギング程度とし、スパイクを履いての走行や、器具（ミニハードルやメディシンボール等）を使用しての練習は禁止する。なお、雨天練習場への出入りは、第2ゲート側からのみとする。なお、雨天練習場では必ずマスクを着用すること。
- 全天候走路であるため、スパイクのピンの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳は12mm以下とする。また、スパイクピンの本数は11本以内とする。

3 選手招集について

- 招集所は、競技場第2ゲート（1500mスタート地点）付近に設ける。ただし、棒高跳については現地で招集を行う。
- 招集開始時刻および招集完了時刻は次のとおりとする。※タイムテーブルを参考にすること。

| | 招集開始時刻 | 招集完了時刻 |
|------------------|-----------|-----------|
| トラック競技（四種競技を含む） | 競技開始 30分前 | 競技開始 20分前 |
| フィールド競技（四種競技を含む） | 競技開始 40分前 | 競技開始 30分前 |
| フィールド競技（棒高跳） | 競技開始 70分前 | 競技開始 60分前 |

- 招集の手順
 - 競技者は、招集開始時刻までには招集所に集合し、最終点呼を受ける。その際、競技役員にアスリートビブスとスパイク、衣類および競技場内へ持ち込む物品等の確認を受けた後、競技役員の指示に従って入場する。（携帯電話や通信機器および音楽再生機等は持ち込めない）
 - 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技に出場できない。
- 2種目を同時に出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が競技者係に申し出る。2種目同時に出場する場合は、トラック競技を優先する。
- リレー種目に出場するチームは、予選・決勝ともに**第1組の招集完了時刻の60分前**までに、オーダー用紙を競技者係まで提出する。オーダー用紙は招集所に準備する。なお、一度オーダー用紙を提出したら、その後の変更は招集完了時刻までに主催者が任命した医務員の判断がない限り認められない。
- やむを得ず棄権する場合は、競技者係に申し出る。

4 競技について

- スタートの合図は英語とする。不正スタートについては、1回目から失格とする。ただし四種競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後不正スタートした競技者はすべて失格とする。
- 予選におけるトラック競技のレーン、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の左側の番号で表す。トラック競技の決勝については、主催者側が公平に抽選をし、その結果を番組編成表示板に掲示する。
- トラック競技の予選はタイムレースとし、上位8名が決勝に進出することができる。ただし、男女1500mおよび男子3000mの決勝進出者はタイムレース上位者ではなく着順を優先して決定する。なお、同記録着差なしの場合は、日本陸連競技規則に準じて決勝進出者を決定する。
- レーンで行う競技種目で棄権者があった場合は、そのレーンをあける。
- 短距離種目では、事故防止のため、フィニッシュ後も自分に割り当てられた走路（曲走路）を走る。
- リレー競走においては、チームの出場者は同一のユニフォームを着用する。
- リレー競技のマーカーの使用は1カ所とする。使用したマーカーはそのチームで処理する。
- 競技場内での跳躍、投てきの公式練習は、審判員の指示によって行う。
- 走幅跳、三段跳、砲丸投は3回の試技を行い、上位8名を決定する。上位8名の者は、さらに3回の試技を行い順位を決定する。
- 三段跳においては、踏切板から砂場までの距離を10mとする。
- フィールド競技における助力は、観客席に設けられたコーチ席（コーチング・ゾーン）でのみ認める。競技区域の外にいる者によって録画されたそれ以前の試技の映像を見ることは認めるが、その録画再生機器や録画映像を競技区域内に持ち込むことは認められない。また、選手が機器等を手を持って画像を確認することはできない。

- (12) 携帯電話等の通信機器、ビデオ・デジタルカメラ等を競技場内に持ち込むことはできない。
 (13) フィールド競技における競技中の選手への水分の差し入れについては、競技該当審判員を通じて選手に手渡すことができる。

5 競技用シューズについて

- (1) WA承認リストにあるシューズを使用していることを前提に、招集所での計測を実施しない。ただし、審判長の権限により、靴底の計測を求められた場合は計測する。計測の内容としては、TR5. 13.3 (国内 TR5. 2) にある厚さ等を確認する。

6 競技場への入退場について

- (1) 競技場への入場はすべて係員の誘導による。
 ※ 競技開始場所においても、直前の点呼があるので勝手に行動しないこと。
 (2) トラック競技の出場者はフィニッシュライン到着後、係員の誘導によって退場する。
 (3) フィールド競技の出場者は、係員の指示に従って退場する。

7 アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは指定された大きさの数字が明瞭に見えるように、ユニフォームの胸と背に確実に付けること。ただし、跳躍競技の出場者は胸または背のどちらか一方でもよい。
 (2) トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバー標識を選手招集所で受け取り、ランニングパンツの左右につけること。競技終了後、フィニッシュ付近の指定された場所へ返却すること。
 (3) 男子 3000mについては、別ナンバーカードを招集所で受け取り、胸と背につけること。

8 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方について

- (1) 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方は、最後の1人になるまでは次のとおりとする。

| | | | | | | | | | | |
|-------|---|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----------|
| 走高跳 | 男 | 145 (練習) | 150 | 155 | 160 | 165 | 170 | 173 | 176 | 以後3cmごと |
| | 女 | 125 (練習) | 130 | 135 | 140 | 145 | 148 | 151 | 154 | 以後3cmごと |
| 四種走高跳 | 男 | 137 (練習) | 140 | 143 | 146 | 149 | 152 | 155 | 158 | 以後3cmごと |
| | 女 | 117 (練習) | 120 | 123 | 126 | 129 | 132 | 135 | 138 | 以後3cmごと |
| 棒高跳 | 男 | 240 (練習) | 250 | 260 | 270 | 280 | 290 | 300 | 310 | 以後10cmごと |
| | 女 | 160 (練習) | 170 | 180 | 190 | 200 | 210 | 220 | 230 | 以後10cmごと |

- (2) 棒高跳の支柱移動は、口頭で競技役員に伝える。

9 競技用具について

- (1) 競技に使用する用具は、すべて主催者が用意したものを使用する。ただし、棒高跳用ポールについては、検査において合格したものだけに限り使用が認められる。個人所有のポールの検査は、最終点呼時に跳躍審判員が行う。
 (2) 練習用としても個人の用具を競技場に持ち込んではいならない。

10 表彰について

- (1) 個人表彰は、第1～3位の選手に賞状を授与する。ただし、表彰式は行わない。各校監督はメインスタンド1階南エントランスへ賞状を取りにくること。
 (2) 総合の表彰は男女各3位まで行う。なお、各種目の入賞者の得点は1位8点、2位7点、3位6点、以下5、4、3、2、1点とする。総合得点が同点の場合は、1位種目の多い学校を上位とする。
 (3) 新記録樹立者には新記録賞を授与する。

11 応援横幕・のぼり旗、個人テントの設置について

- (1) 応援横幕・のぼり旗などは、バックスタンド及びサイドスタンドのフェンスに設置すること。
 (2) スタンド等の通路をさえぎる状態での設置はしないこと。
 (3) 設置についてはロープ等を使用すること。(粘着テープ等の使用は禁止する。)
 (4) 個人名の入った応援横幕・のぼり旗等は許可しない。
 (5) 本競技場内に個人テントを設置する場合は、バックスタンド及びサイドスタンド中段通路より上、または周辺道路の交通の妨げとならない場所に設置すること。

12 その他

- (1) 開会式および閉会式は実施しない。
 (2) 応急処置を要する場合やその他健康上の問題が発生した場合は、正面スタンド下の医務室まで連絡すること。
 (3) 記録は競技終了後、大型映像で表示する。メインスタンド下、正面玄関付近での記録掲示は行わない。
 (4) スタンド等で出たごみについては必ず各自で持ち帰ること。
 (5) 四国大会への出場権を獲得した(各種目1位～4位、リレーは1位～2位)競技者がいる学校の監督は、メインスタンド1階控室Gにて四国大会の申し込みをすること。また、全国大会への出場権を獲得した競技者および全国大会出場推薦選手がいる学校の監督は、本部(メインスタンド1階第1会議室)まで大会申込関係書類を受け取りにくること。なお、全国大会出場推薦選手の監督へは本部より連絡する。

令和4年度 第74回愛媛県中学校総合体育大会 理事・専門部長会議
陸上競技の部 伝達事項

- 1 競技時間 1日目の「男子1500m決勝」を2日目に変更
2日目の「男女リレー予選」を1日目に変更

2 緊急時の連絡

県専門部長 → 各地区専門部長 → 各学校

3 開会式および閉会式は実施しない

※ 前年度の優勝、準優勝の学校は、優勝旗、準優勝杯を本部まで返却すること。

＜男子＞ 優勝：港 南 準優勝：愛大附属

＜女子＞ 優勝：城 南 準優勝：立 花

4 運動公園ゲート 開門 7:00頃

陸上競技場 開場 7:30

※ 前日及び開場前からのベンチ確保は厳禁とする。競技場内及びスタンド周辺でのベンチ確保は、大会当日の開場後に行うこと。

※ 雨天練習場内、招集所（第2ゲート周辺）付近、トレーニング室出入口付近、体育館前でのベンチ確保は禁止とする。

5 四国大会申込・・・メインスタンド1階 控室G

全国大会申込・・・メインスタンド1階 第2会議室

6 その他

※ 当日の提出資料は、後日中体連HPに掲載するのでダウンロードすること。

※ 監督会議は実施しない。監督会議事前資料を確認すること。

※ 別紙『競技注意事項』を確認しておくこと。

※ 原則として、オフィシャル・ルールを適用する。

※ 靴底の厚さは計測しない。規定内のシューズで大会に出場すること。

※ 熱中症対策の観点から、男女1500mおよび男子3000mの決勝進出者はタイムレース上位者ではなく着順を優先して決定する。

※ 荒天時に限り、雨天練習場を開放する。雨天練習場の使用は、体操、ストレッチ、動き作り、ジョギング程度とし、スパイクを履いての走行や、器具（ミニハードルやメディシンボール等）を使用しての練習は禁止とする。雨天練習場への出入りは、第2ゲート側からのみとする。なお、必ずマスクを着用すること。

※ 個人第1～3位の生徒への表彰は行わない。監督が賞状を本部へ取りにくること。総合第1～3位の学校へは、専門部から連絡をするので、本部へ取りにくること。

※ 声を出しての応援は禁止とする。拍手のみで応援すること。

※ タクシー、バスの乗降は東駐車場で行うこと。横断歩道、バス停付近での乗降は厳禁とする。

※ 北駐車場は役員・審判員専用駐車場（公認審判員ID必要）とする。一般の駐車場は中央駐車場、東駐車場とする。

※ 大会前日（7/21）9時～13時、陸上競技場を練習会場として開放する。